

コロナ禍での消化器内科病診連携について

副院長（兼）消化器内科統括科長 齋藤 孝治

特集:新年度あいさつ

副院長
（兼）医療情報部長
（兼）消化器内科
統括科長
（兼）診療情報
管理室長

齋藤 孝治
・・・1

医療連携・相談室
担当医師 & スタッフ
紹介・・・2～3

医療連携室からの
お知らせ・・・4

日頃は消化器疾患の患者さんを多数ご紹介頂き有り難うございます。現在、新型コロナウイルスに対する院内感染対策により、必要不急の検査・手術の延期など、各科で非コロナ診療に多大な影響が出ています。

消化器内視鏡検査は、エアロゾル発生の高危険性が高い手技であり、新型コロナウイルス感染拡大下の現在、全国的に大きく制限されています。無症状の感染患者も多く存在し（40%～60%）、絶えず感染の可能性を考慮し、診療を介した自身への感染、そして院内感染の源にならないよう、検査にあたっては十分な対策が要求されます。

消化器病学会や内視鏡学会の「新型コロナウイルス感染症への消化器病診療における留意点」や「新型コロナウイルス関連情報」などにに基づき、トリアージレベル（緊急性、良悪性など）を評価し、各患者の感染リスク、地域感染状況を考慮しながら PPE 着用などの感染対策を徹底して診療にあたっています。急を要する内視鏡検査・治療（吐血、下血、消化管閉塞/狭窄、黄疸、癌など）は、遅滞なく診療を継続しております。

御存知のように、癌は日本人の死因の第一位で、総死亡の約 30%を占めており、人口の高齢化に伴い今後も増加が続くと考えられています。

部位別にみた悪性新生物の年齢調整死亡率は、男性では、第 1～5



位は、肺、大腸、胃、膵臓、肝臓で、膵癌が増加傾向にあります。

女性では、第 1～5 位は、乳房、大腸、肺、膵癌、胃で、膵癌と乳癌が増加傾向にあります。近年、検診や医療技術の進歩による早期発見・治療などにより、胃癌の死亡率は顕著に減少していますが、膵癌など他の消化器癌で亡くなる患者は、まだまだ多いのが実情です。

変異ウイルスによる感染拡大の中、感染対策を徹底しながら安心して検査を受けていただけるよう鋭意努力しております。ご不便をお掛けてしておりますが、今後とも宜しくお願い致します。



令和3年度、医療連携・相談室の職員体制を紹介いたします。

江口医療連携部長を始め、医師（副部長）4名、看護師12名、社会福祉士5名、精神保健福祉士（兼）社会福祉士3名、事務職等、32名の組織となりました。

新たなメンバーを迎え、在宅療養支援体制や医療連携体制のさらなる充実を図っていきます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

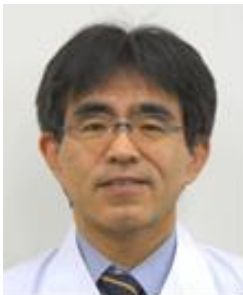


<医師紹介>



江口 英行（えぐち ひでゆき）

副院長(兼)医療連携部長(兼)診療部長（内科系二）
(兼)教育研修部長（兼)内科（代謝・内分泌）統括科長
(兼)栄養管理室長(兼)人間ドック室長(兼)医療連携・相談室長



高橋 潤
(たかはし じゅん)

医療連携部副部長
(兼)診療部長（総合診療科）
(兼)教育研修部副部長
(兼)総合診療科科長



渡辺 晋一郎
(わたなべ しんいちろう)

医療連携部副部長
(兼)診療部長（内科系一）
(兼)内視鏡部長
(兼)教育研修部副部長
(兼)消化器内科科長
(兼)内視鏡室長



大楽 勝之
(だいらく かつゆき)

医療連携部副部長
(兼)診療部長（外科系五）
(兼)整形外科統括科長



鈴木 春芳
(すずき はるよし)

医療連携部副部長
(兼)精神科医長

<スタッフ紹介>

★印は今年度新たに加わったスタッフ

連携部門



医事情報課長
(兼)医療連携相談主幹
いたがき ゆきひろ
板垣 幸広



社会福祉士
よしだ あやの
吉田 文乃



事務
せいの
情野 はるみ



予約センタースタッフ

相談支援部門



看護師長・緩和ケア認定看護師
いとう ひろみ
伊藤 裕美



副看護師長
さがえ わかこ
寒河江 和加子



副看護師長
よしだ さとみ
吉田 里美



看護師
なす やすこ
那須 泰子

精神科支援部門



社福士・精神
はせべ ゆたか
長谷部 泰



社福士・精神
いちの りょうこ
市野 涼子



社福士・精神
いざわ さき
★飯澤 沙希

注) 社福士・精神は、社会福祉士
(兼) 精神保健福祉士の略です。

入院支援部門



看護師
えんどう かずこ
★遠藤 和子



看護師
こばやし みほ
小林 美帆



看護師
えんどう としこ
遠藤 俊子



看護師
ちだ みさこ
★千田 美佐子

退院支援部門



副看護師長
たかはし みちこ
高橋 美智子



副看護師長
こせき じゆんこ
小関 純子



社会福祉士
ほそや えり
細谷 笑里



社会福祉士
はせべ ゆか
長谷部 由佳



看護師
たかはし ゆかり
高橋 紫



看護師・社会福祉士
おがさわら あやこ
小笠原 亜矢子



社会福祉士
さいの あつこ
齋野 敦子



社会福祉士
すがい ひろこ
須貝 広子

新型コロナウイルス対策 (令和3年5月7日現在)

公立置賜総合病院

〒992-0601

山形県東置賜郡川西町
大字西大塚 2000 番地
病院代表

TEL: 0238-46-5000

医療連携・相談室 1
(退院支援部門・事務部門)
FAX: 0238-46-5721

医療連携・相談室 2
(相談・精神・入院支援部門)
FAX: 0238-46-5030

予約センター
TEL: 0238-46-5700
FAX: 0238-46-5722

病院理念
心かよう信頼と安心の病院

置賜広域病院企業団

公立置賜総合病院
www.okitama-hp.or.jp

国内における感染拡大の状況を踏まえ、公立置賜総合病院においても感染対策を講じております。院内感染予防等のための検討を行い、対策の強化を行っているところです。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

受診者対応…正面玄関付近にて検温を実施。(7:00~17:00)

発熱(37.5度以上)や身体症状がある場合、看護職員がスクリーニングを行い、新型コロナウイルス感染症が疑われる等の場合は診察・検査を行う。救急外来ではコロナ用問診表に記載してもらい対応する

電話診療…院内感染予防のため、慢性疾患等で定期受診されている方からご希望があった際は、電話で診療し、必要に応じて処方箋の発行を行う。

リハビリ…外来患者と入院患者の同一空間での共有を避けるために、時間帯を異にして行う。外来患者のリハビリに関しては、当分の間、**平日9:00~10:00(入室は9:40まで)**に限り実施する。

面会対応…面会は全面禁止。

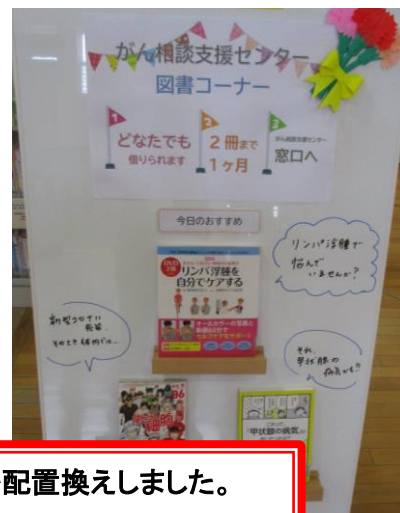
手術・症状説明、緊急等、医師が認めた場合のみ、少人数かつ短時間の面会に限り許可証を交付する。
洗濯物等の受け渡しは時間を設定して職員での受け渡し対応を行う。

洗濯物受け渡し
受け渡し時間：平日 15:00~19:00
 ：土日祝 15:00~18:00
受け渡し場所：エレベーターホール

★地域の医療・介護関係者の方々も同様に、医師が認めた場合とさせていただきます。ご協力願います。

※感染状況により、対応の変更がなされることをご了承ください。

がん図書コーナーリニューアルしました!!



令和3年5月に相談窓口のがん図書コーナーを配置換えしました。日替わりのおすすめの本を紹介しております。来院された際はぜひご覧ください。

あとがき
公立置賜総合病院は令和3年度、新体制でスタートしました。昨年引き続き感染拡大防止のため、挨拶回りは行いませんが、医療連携だよりを通じてスタッフを知っていただき、さらによりよい連携が図れるよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。